

令和6年度 教科研修会 I に向けた授業の構想

英語科

1 英語科の研究テーマ

目的や場面、状況等に応じて、事実や考え、
気持ちなどを伝え合う力を高める学習の在り方

2 英語科として育成を目指す資質・能力の受け止め (研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体的な姿)

- ・ 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりする姿
(1 学年、聞くこと・読むこと)
- ・ 日常的な話題について、話や文章の概要を聞き取ったり、読み取ったりする姿
(2 学年、聞くこと・読むこと)
- ・ 社会的な話題について、短い説明や文章の要点を聞き取ったり、読み取ったりする姿
(3 学年、聞くこと・読むこと)
- ・ 関心のある事柄について、即興で話す姿
(1 学年、話すこと〔発表〕)
- ・ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話す姿
(2 学年、話すこと〔発表〕)
- ・ 社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、自分の考えなどを詳しく話す姿
(3 学年、話すこと〔発表〕)

3 単元名・学年 「Languages in India」・3年

4 単元の概要 (全9時間扱い 本時は第6時)

Lesson Goal

日本に来たいと思っている外国人に、本当に知ってほしい日本をPRしよう。

単元展開

時間	学習活動
第1時	<p>◆日本についてのやり取りを通して、単元の見通しをもつ 【Today's Goal】「What is country, Japan?についてやり取りしよう」</p> <p>・教科書の扉絵から「インド」について知っていることを伝え合い、それを基に、日本がどのような国かについてやり取りする。</p> <p>【Lesson Goal】「日本に来たいと思っている外国人に、本当に知ってほしい日本をPRしよう。」に対する単元の見通しを記述する。</p>
第2時 ～ 第3時	<p>◆教科書の登場人物の紹介や会話を聞き取ったり、読み取ったりすることを通して自分の考えを広げる</p> <p>・教科書に載っている紹介や会話を聞いたり、読んだりして、受け身の用法やきまりを確認する。それぞれの内容についてやり取りすることを通して、自分の考えをメモに整理し、発表し合う。</p>
第4時 ～ 第5時	<p>◆ガイドブックを読み取ることを通して、自分の考えを深める</p> <p>・ガイドブックに書かれている概要を捉え、ガイドブックの内容を「インドのPR」として読み取り、感想を伝え合う。</p>
第6時 (本時)	<p>◆寿司について友と発表し合うことを通して、自分の考えを明確にする</p> <p>・日本に来たいと思っている外国人に、和食の中でも有名な「寿司」について、伝える相手や内容を意識して自分の考えを友と発表し合う。</p>
第7時 ～ 第9時	<p>◆ペアやグループで発表し合うことを通して、自分の考えをまとめる</p> <p>・発表し合う中で友から受けたコメントや質問を基に、自分のスピーチを改善する。自分の発表を録画(評価に用いる)し、単元を振り返る。</p>

英語科学習指導案

令和6年5月15日(水) 5校時 3年C組教室

授業学級 3年C組(41名)

授業者 齊藤 優

1 単元名 「Languages in India」

2 主眼 ※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している
日本に来たいと思っている外国人に向けて「寿司」について友と発表し合う場面で、ペアで1回目の発表をした後、伝える内容を明確にするために、友の発表を言語面と内容面から振り返り、伝える相手を意識しながら簡単にメモにまとめ、2回目の発表をすることを通して、簡単な語句や文を用いて即興で発表することができる。 【話すこと〔発表ア〕】

3 Lesson Goal : 日本に来たいと思っている外国人に、本当に知ってほしい日本をPRしよう。

4 本時の位置 (全9時間中 第6時)

前時: インドの言語について書かれたガイドブックをPRとして読み取り、自分の考えを伝え合った。

次時: 自分の考えをペアで発表し合い、発表内容について感想を伝え合う。

5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 前時を振り返り、本時の見通しをもつ。	ア 寿司には、マグロやサーモンなど様々なネタがあり、回転寿司では、それらを安く、おいしく食べられることを伝えよう。寿司は日本の代表する文化の一つだ。 イ 外国人は寿司がどのようなものかは知っていて、食べてみたいと思っている人も多数いる。そのような外国人に向けて、日本の寿司は質が高いことを紹介しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 教師と生徒のやり取りから全体で寿司について扱うことを確認し、ペアで発表し合うように促す。 ALT の寿司に対する考えを全体に紹介し、どのような内容を伝えればよいか問い、Today's Goal を設定する。 	10分
	Today's Goal : 日本に来たいと思っている外国人に向けて「寿司」		について友と発表し合おう。	
展開	2 ペアで1回目の発表をした後、友の発表を言語面と内容面から振り返り、伝える対象を意識しながら簡単にメモにまとめる。	ウ Sushi is one of the most famous food in Japan. It is eaten by many people. Japanese sushi is high quality. It is made by professional sushi chefs. エ Aさんは、寿司について巻きずし、押し寿司やいなり寿司など、日本にしかない種類の寿司を紹介していた。 オ 【内】 Bさんは、寿司の食べ方を紹介することで、日本に来る外国人が手軽に寿司を味わうことができ、楽しめるということを伝えたいことが分かった。 カ 【言】 Bさんは、if や when を用いて、条件を提示しながら話していた。具体的な場面を想像できるから私も使ってみよう。 キ 私は日本に来る外国人に、日本の寿司の質の高さに感動してほしいから sushi chef に skills, moved をつなげてメモしよう。	<ul style="list-style-type: none"> 寿司について伝える内容を決め出し、簡単にメモする時間を設けて、ペアで自分の考えを発表し合うように促す。 伝える相手を意識しながら伝えていた生徒に全体で発表するように促す。 なぜその内容を伝えようとしたのかを問い、それが日本を勧める自分の考えにつながることを全体で共有する。 条件や場面を具体的に伝えるために if や when が使えることを全体で確認する。 全体共有したことを参考にしながら再度自分の考えを簡単にメモするように促す。 	24分
	3 メモを基に、2回目の発表をする。	ク Sushi is one of the most famous food in Japan. It is eaten by many people. Japanese sushi is high quality. It is made by professional sushi chefs. At sushi restaurants, sushi chefs cook sushi one by one after you order. Sushi is small food, but you will be moved if you see their skills. Please enjoy our great sushi culture when you visit Japan.	<ul style="list-style-type: none"> 1回目と異なるペアで発表するように促す。 発表が続かない生徒には、教師が伝えたい内容について尋ねる。 	10分
終末	4 本時の学習を振り返る。	ケ 【内】 日本に来たいと思っている外国人に向けて、寿司の質の高さを、職人さんが一つ一つ手作りすることや小さい食べ物けれども技術の高さが詰まっていることを伝えることができた。この紹介を Lesson Goal に対する自分の考えの参考にした。【言】 接続詞を用いて条件や場面を具体的に伝えることができた。	<ul style="list-style-type: none"> Today's Goal について言語面と内容面から振り返るように促す。 ケのような記述をしている生徒を全体に紹介し、Lesson Goal に向けて、自分の発表の内容について考えていくことを確認する。 	6分
		単元末の発表動画から、評価規準に照らし合わせて評定に用いる評価を行う。		